

● 三重県関係で国の登録有形文化財（建造物）の新登録の答申が行われるものの概要

【名称】桐林館（旧阿下喜小学校校舎）

（とうりんかん（きゅうあげきしょうがっこうこうしゃ）） 1棟

旧阿下喜小学校門及び石柵

（きゅうあげきしょうがっこうもんおよびせきさく） 1基

【所在地】いなべ市北勢町阿下喜

【年代】桐林館：昭和12年（1937）／昭和58年移築

門及び石柵：明治後期／大正10年（1921）、15年（1926）改修

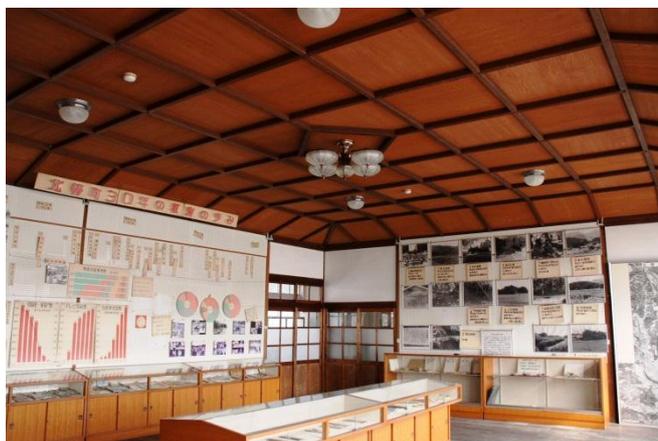
【建築面積】桐林館：345㎡、

門及び石柵：正門 間口6.0m、門 2.8m、石柵 71.2m

桐林館は阿下喜村（現：いなべ市北勢町阿下喜）の尋常高等小学校として昭和12年に建築された建物です。昭和56年に小学校が移転した後、規模を縮小して敷地内へ移築され現在は文化財保存施設として使われています。簡素な小学校校舎に小さな塔や玄関ポーチ、屋根窓を設け、地域の象徴にふさわしい形態をあらわしています。また校舎内外の幾何学的な意匠は戦前の地方小学校建築の傾向を示しています。当時のまま残る門や石柵とともに地域に親しまれている建物です。



外観



内部（旧職員室）

【名称】麻野館 玄関棟（あさのかん げんかんとう）	1棟
麻野館 広間棟（あさのかん ひろまとう）	1棟
麻野館 土蔵（あさのかん どぞう）	1棟

【所在地】伊勢市二見町茶屋

【年代】玄関棟：明治28年（1895）／大正11年（1922）改修
 広間棟：明治28年（1895）／昭和12年（1937）増築
 土蔵：大正10年（1921）

【建築面積】玄関棟：437㎡、広間棟：312㎡、土蔵：37㎡

伊勢参詣や夫婦岩参詣でにぎわった二見の旅館街にある老舗旅館です。明治28年に現在地に旅館が移転した際に建築されました。大正から昭和初期に改修されていますが、和風旅館のたたずまいをよく残しています。特に大広間棟は個人客から修学旅行などの団体客への対応していくために改修されており、明治から昭和にかけての伊勢参詣や観光の変遷を物語る建物の一つです。



外観



大広間